



茗溪 かながわ

MEIKI KANAGAWA

NO.7

発行 神奈川茗溪会（旧 茗溪会神奈川支部） 発行者 清水進一

平成 27（2015）年 9 月

「茗溪かながわ」第7号の発行に際して

神奈川茗溪会 会長 清水 進一

神奈川茗溪会総会のご報告

七月四日（土）に開催いたしました本年度の総会には多くの会員の皆様のご出席をいただき、誠にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

昨年は出席しなければならぬ私が病のため、出席が叶わず大変残念でしたが、久しぶりにお会いした先輩・後輩の皆さんと近く話ができて、本当にうれしく思いました。

今年の総会は、例年と異なり、筑波大学の石隈副学長と茗溪会本部の西川副理事長を来賓としてお迎えいたしました。

これは、茗溪会と筑波大学の共同プログラムとして、各県茗溪会と大学や本部茗溪会との連携を促進するために実施されているもので、大学・茗溪会のいずれもトップの人が地域の会合に出席する事業の一環としてご出席をいただいたものです。

筑波大学の11の付属学校全体をまとめる責任者でもある石隈副学長は、従前から神奈川県立総合教育センターの講師などで本県との関わりも深く、筑波大学が現在進めている未来構想大学としての取組みや国際バカロレアの導入を視点とした学校教育に



対するご提言をいただきました。

西川副理事長からは、茗溪会の現在の取り組み状況や課題についてお話しいただきました。西川副理事長は川崎高校卒業でもあり、本県と深い関係があることから懇親会でも会員の皆さんとも親交を深めていただきましたが、来年度以降も、是非、ご出席をお願いしたいと思います。

懇親会の中で、ほぼ全員の出席者の皆さんと杯を交わさせていただきましたが、皆さんから私の体への労りの言葉をいただき大変ありがたく思いました。

いろいろお話をさせていただきましたが、特に、筑波大学出身の会員から、もつと若い人の出席を進めて欲しいという言葉聞きました。今後、若い会員の出席

の促進を考えたいと思いますが、皆さんも是非友人たちにも声をかけていただきたいと思います。

茗溪会館がリニューアルしました

さて、総会の西川副理事長のご挨拶にもありましたが、茗溪会館が変わりました。

長い間、地下一階のレストランや会議室の貸室業務などの事業を行っていた「茗溪サービス」が本年三月末で解散し、その後、休業状態でしたが、このたび、株式会社「シーン」と契約が成立し、会館を改修して九月から新たに「ライダル及び総合パーティー施設「嘉ノ雅」茗溪館—KANOBIMEIKIKAN—」としてリニューアルオープンしました。

「ライダルがメインですが、従前と同じように会議での利用やランチなどにも利用できますので、ご利用いただきたいと思います。（詳細はHPをご覧ください。）



リニューアルした茗溪会館

神奈川茗溪会定期総会 ・懇親会を開催

石隈副学長、西川副理事長をお迎えて盛大に開催

七月四日（土）、横浜中華街のローズホテル横浜にて今年度の神奈川茗溪会総会が開催されました。昨年度、出席が叶わなかった清水進一会長及び矢野正人事務局長が揃って復帰し、来賓として筑波大学副学長・石隈利紀氏並びに茗溪会副理事長・西川潔氏（S.44教大芸）をお迎えして、会員65名が参加する盛会となりました。

冒頭、昨年度総会以後に訃報を頂いた11名の物故者への黙祷後、望月正大副会長の開会の辞に続き、清水会長より、来賓のご紹介と四名の会員の叙勲披露を交えてご挨拶がありました。

地域と本部の連携に向けて

その後、来賓としてご出席いただいた石隈副学長よりご挨拶を頂きました。筑波大学がいわば未来構想大学として発展していく可能性を踏まえ、特に国際バカロレアに向けた教員養成や外部連携の充実に向けた展望などについて熱く語られました。

引き続き、ご来賓の西川氏よりご挨拶を頂戴しました。本県川崎のご出身とのことで、茗溪会事務局改編や大学との連携強化についてもお話しされました。



春秋の叙勲者紹介
 栄えある叙勲に列せられたのは、戸叶義能（s31教大林学）、溝口碩矩（s39教大数学）、藤田英征（s41教大日史）、大辻昇（s42教大総農）の四氏。佐々木悦子副会長より記念品を贈呈した後、受賞者よりご挨拶を頂きました。

議案と報告

山崎紀彦副会長を議長に選出し、協議事項四件について提案があり、満場一致で承認されました。このうち、予算については、引き続き緊縮の方向性を確認しました。また、来年度の代議員候補者の立候補募集についても提言がありました。

議案承認後、佐々木副会長より茗溪会平成27年度定時総会の報告がありました。

新泉は筑波のもとに

今年度は講演会が行われなかった関係で、そのまま懇親会に移りました。出席者は総勢63名で、このうち筑波卒の会員はちょうど三分の一。両大学ともに往時を思わせる青春の意気が漂う中、筑波の話にも多くの花が咲き、時の確実な移ろいも感じられる歓会となりました。

茗溪会懇親会に参加して

谷田部 玲生
 (昭56筑院 教育研究科)



神奈川茗溪会総会および懇親会に、今回はじめて参加させていただきました。ありがとうございました。

私は、昭和54年三月に筑波大学第一学群社会学類を卒業、昭和56年三月に筑波大学教育研究科教科教育専攻社会科コースを修了

いたしました。学部は二期生、大学院は一期生でした。その後、高等学校教員などを経て、平成21年四月より桐蔭横浜大学で主に社会科系の教職科目を担当させていたいております。

神奈川県に勤務させていたのは初めてでしたが、神奈川茗溪会の先生方から熱心にお誘いをいただき、数年前に入会させていただきました。総会および懇親会には今回初めての参加でしたが、会員の皆様が大変温かく接してくださり、初めての参加でありながら、楽しく参加させていただきました。

今回参加させていただき、神奈川県内では、茗溪会の会員が教育界を中心にさまざまな分野で活躍されていることに改めて驚きました。また、神奈川茗溪会が清水会長先生以下、役員や事務局のご尽力、会員の皆様の熱意により大変活発に活動をしていることを知りました。

茗溪会には、これまで大変お世話になり、いろいろな機会に励まされていたり、助けていただいたりしてまいりました。茗溪会と繋がりのある桐蔭学園に勤務させていただいたのも、何かの縁であると思います。

今後は神奈川茗溪会を中心に、少しでも茗溪会に恩返しができるかと考えております。今後ともどうかよろしく願います。

ある筑波大の学生とその後

中道 徹 (昭58 筑生物)



私が大学に入ったのは、村上春樹が「風の歌を聴け」を発表した一九七九年です。

今、TVドラマ「ど根性ガエル」で主人公ヒロシのお母さん役をやっている薬師丸ひろ子が若かりし頃に主役をした「セーラー服と機関銃」（相米慎二監督）という映画があります。その映画がかかっていた一九八一年、私は筑波の学生寮を出て美晴荘というアパートで生活するようになりました。

当時、学生の分際でなんとか手に入れた中古の軽自動車には、クーラーは付いていませんでした。

同じ頃、筑波にもレンタルレコード店ができて（CDではない）、私は、ポリスとかを借りて聴いていました。

なんとなくの理系学生だったので、実験を熱心にするわけでもなく、図書館に行つては、関係のない、当時流行の哲学の本

を読んでいます。あとは、夜土浦でパーテンのようなバイトをして、無為に過ごしていました。

今調べると、卒業の年には、任天堂のファミコンが発売されたようです。

卒業後、高校の教員になり、それからコンピュータのSEをしたり、バイオテクノロジーの会社でマーケティングをやったりしているうちに、集中して勉強をしたくなつたので司法試験を受け、司法研修所で法曹実務の勉強をしました。

今は、海老名で弁護士をしています。

あと、横浜国立大学の法科大学院で特許法を教えており、十数年ぶりに教壇に立っています。

弁護士は原則自由なので、時間があれば映画を見たり、本を読んだりしています。最近、チャールズ・ブレイクの本を読んであれこれ考えたりしています。

こういった経歴だと、誰も相手にしてくれないので気楽なのですが、寂しく感じるときもたまにあります。そんなとき、夏の茗溪会の宴会に行くと、顔見知りになつた諸先輩に声をかけて頂けるのは嬉しいことです。

弁護士になつたので、大きな予算を動かすプロジェクトもありませんし、海外進出もありませんので、せめて人の役に立ち、社会正義の実現にお役に立てればと、時々考えている次第です。

特集 サークル活動の思い出
陸上競技部

椎谷 勝彦 (昭41教体)

私と箱根駅伝の出会い、中学一年の正月二日、中古の自転車、国道一号线、第二区の権太坂を下った山谷へ駅伝を見に行つた時です。もつともつと走る選手を見たくて平塚まで追いかけていった思い出があります。

中学時に陸上部に入り、その同年の部員のほとんどが市立南高に進学し、顧問の松下繁雄先生(教大s30教体)との出会い、二年上の先輩・依田章史さん(教大s39教体)との出会いが私の東京教育大学体育学部への進学に大きく影響しました。

松下先生の勧めで高校二年の八月下旬、依田さんが大学一年時の総合合宿(六泊七日長野県上田市)の前半、二泊三日で中長距離ブロックに参加させてもらいました。そんな体験のおかげもあって、秋の県新人大会で南高は総合二位、私も一五〇〇mで決勝三位に入賞し、次年のインターハイを目指すことを決心しました。しかし、前橋の南関東大会は出場したものの、体調不良でインターハイには出られない悔しさを味わいました。

mはトップのタイム、五教科もまあまあだったので合格できました。

保谷での大学生活、全体の練習量が増えただけで一五〇〇mも五〇〇〇mもタイムがどんどん良くなりました。十月の前期講義終了後の休みに駅伝合宿(一年時は狭山湖周辺、二年時は館山の海岸やロード走、三年時は榛名湖周辺、四年時は鳥取砂丘)に参加、フォームも安定し持久力が増した実感がありました。

一年時の小岩の10マイル、三年時の多摩丘陵の20kmの二回の予選会。一年の一区は実力の区間10位、二年の一区は故障あがり17位、三年、四年はそれぞれ区間五位と、二年時以外は自分なりに頑張れたと思っています。箱根駅伝に四回出場できたことと、大学四年の最後の全日本インターカレッジ八〇〇m決勝で五位に入賞し、陸上マガジンにゴールの写真も掲載されたことが私の一番の名誉です。

卒業後は県立高校の教員になり、陸上部顧問としてインターハイに生徒を引率できました。平行して県陸上競技協会のコーチとなり、県駅伝チームの監督として励み、48歳の時、茗溪の諸先輩より管理職の推薦をいただき、教育職を全うすることができました。



特集 サークル活動の思い出
大学時代 ニつのサークルに所属して
掛原 豊 (昭54筑農林)

私は、オーケストラとダイビングクラブに所属していました。オーケストラでは、ヴァイオリン(Vn)を弾いていました。大学に入学しオーケストラを見学し、所属を決めました。同期の新入部員とともに、お茶の水の下倉楽器店で楽器を購入しました。秋の演奏会は、「王宮の花火」でした。その後、「運命」や「フィンランディア」などを演奏しました。卒業数年後、茅ヶ崎オケに入団し八年前までVnを弾いていました。その後、楽器は、大学でチェロを弾いていた後輩の伊東三太郎氏がイタリアのバ

ルマでVn製作の修業をしていることを知り、習作を購入し今でも使っています。

Vnの繊細な響きにあこがれて楽器を選びましたが、はじめは音程も外れ、ノコギリ音を出している寮の隣室の方々に迷惑をおかけしたことをこの場を借りてお詫びいたします。

一方、ダイビングの方は名前だけでも貸してほしい、との事で入部しましたが、三宅島の合宿や真鶴の練習、教育大跡の水深5mの飛び込み練習用のプールなどに出かけていきました。三宅島の民宿で寝ているとフナ虫の集団がそこらじゅうを駆け回っていたり、夕食の鍋では蓋をあける瞬間を部員みんなで箸を待機させて競って食べていました。海ではBC(バランス)

グベスト)がまだない時代にタンクを背負って鉛の重りでバランスを取り苦労して潜っていました。潜っていると急に速い流れの海流の中に入り込み、その寒さに恐怖を感じて必死で泳いで抜け出したり、海岸まで約1kmの距離のところまで、泳いでも泳いでも海岸が近づかなかつたり、岩場の海岸では血だらけになりやつの思いで海からあがった等、自然の畏怖を感じていました。ナイトダイブでは、真つ暗な海の中、懐中電灯で照らしたところだけが浮かび上が

り、小さなサメが照らし出されたこともあり、今ではなかなかできない経験をしました。最近テレビで無人島サバイバル生活などの番組がありますが、そこまではないにしてもまさに野生の生活でした。この経験がその後の人生に役立っています。

二つのサークルを並立し、塾や家庭教師、高エネ研のアルバイトや休業中の新聞配達、二種類の教科の教員免許を取得し(百九十九単位取得)、卒研は村上和雄研究室で、四年間で卒業することはかなりハードな日々でした。しかし、全く異なる分野のサークルに所属できたことは、その間の括目の人間観察も含めて、すべてが素晴らしい経験でした。メンバーに感謝しております。



筑波大学管弦楽団(1978年定期演奏会 大学会館ホール)

会員の皆様より

今年も総会の案内に多数のご返信をいただきました。ありがとうございます。頂戴したお葉書の中から、掲載のご了解をいただいたものを紹介させていただきます。

▼10月で82才、よく長生きしたものです。菊花展に出品する為の大菊作りで毎日追われております。
(齋藤 英一 様 s32 教大数)

▼数年前より、公益財団法人全日本なぎなた連盟の副会長を頼まれ、忙しくいたしております。6月下旬には第6回世界なぎなた選手権大会で、カナダ・モントリオールへ出かけました。おかげ様で元気でおります。
(川口 千代 様 s34 教大体・s36 体育専攻科)

▼横浜市から40才以上の市民に無料支給の万歩計を毎日使用してウォーキングに励んでいます。南区ではランク8位になりました。
(赤地 靖男 様 s34 教大体)

▼間もなく80才になりますので、人生の集大成として民間信仰をもとにした宗教哲学史をまとめにかかっています。公的仕事はやめて、平常は神奈川、武蔵、相模の郷土史会に入り研究しています。
(金子 信男 様 s38 教大文)

▼平塚湘風で7年目です。ラグビーのレフリーも現役続行中。それと平行して若手の育成もやっています。
(加藤 善久 様 s56 筑一社会)

事業報告

▼神奈川の教員採用二次試験対策

先生になりたくて

例年、神奈川茗溪会は、神奈川県教員採用試験の一次試験を合格した筑波大学生(卒業生を含む)を対象に、二次試験対策の集中講座を八月上旬に開催してきました。

猛暑日連続記録がようやく留まりかけた八月八日・九日の両日に渡り、本厚木近くの某ビルの会議室で模擬授業や面接などの特訓を行いました。今年には三名の後輩たちが丸二日間(例年は一日)「熱い指導」を受けることになりました。

講師は茗溪のOGやOBの方々をお願いしています。本年もまた厳しい指導が何度も繰り返されて受験生たちにはぶつけられました。受験生がつぶれかけてしまうのではないかとさえ思うほどです。しかし、他に誰がこんな「指導助言」をすることができでしょうか。合格発表は十月一日です。



叙勲おめでとうございます

瑞宝双光章

戸叶 義能 氏 (s31 教大林学)

瑞宝小綬賞

溝口 碩矩 氏 (s39 教大数学)

藤田 英征 氏 (s41 教大日史)

大辻 昇 氏 (s42 教大総農)

情報コーナー

◆平成27年度若手交流会開催のお知らせ

神奈川茗溪会若手交流会が11月21日(土)18時より、横浜スカイビル11Fの「大陸」で開催されます。今年で4回目を数えます。平成卒業(修了)の方々を中心に多数の皆様のご参加をお待ちしています。

※参加申込み等は、メールにて若手交流会発起人まで

email: wakate@kanagawa-meikei.org

会員訃報

*昨年度総会以降

- 佐々木道彦 氏 (s31 教大教)
- 長谷川宏一 氏 (s43 院修体)
- 長谷川 昇 氏 (s28 教大植)
- 猿谷 九龍 氏 (s27 教大體)
- 諏訪 雅珍 氏 (s23 高師理三)
- 有川 正祐 氏 (s34 教大特教)
- 金 昌式 氏 (s28 教大體)
- 竹之内 保 氏 (s33 教大健)
- 壁山 祐一 氏 (s30 教大化)
- 鷹野 良宏 氏 (s29 教大教)
- 岩村 孟 氏 (s35 教大地理)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます
(事務局受領順)

○住所変更や不明会員の情報などありましたら、事務局または地区委員までお知らせください。

事務局長 矢野 正人 (s53 教院農経) 080-5410-9149 E-mail: yano@kait.jp

川崎地区【川崎市】

- 委員 西村 宗一郎 (s51 教大植) 045-362-7010
- 委員 南 敏章 (s52 教大数) 045-945-2086

横浜地区【横浜市】

- 委員 佐々木 悦子 (s46 教大體) 045-784-0670
- 委員 望月 正大 (s51 教大数) 045-812-0281

横三・湘鎌地区【横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、三浦郡、茅ヶ崎市、藤沢市、高座郡】

- 委員 鈴木 彰 (s49 教大地) 0467-52-5354
- 委員 瀬木 明 (s52 教大応数) 090-1040-3612

平秦・西湘地区【平塚市、小田原市、中郡、足柄上郡、足柄下郡、南足柄市、秦野市、伊勢原市】

- 委員 細谷 俊一 (s47 教大生化工) 0465-77-2046
- 委員 井出 真理子 (s47 教大英) 0463-71-1191

北相地区【厚木市、海老名市、綾瀬市、大和市、座間市、相模原市、愛甲郡、神奈川県外】

- 委員 大島 恵子 (s46 教大植) 042-715-0317
- 委員 本木 幹雄 (s50 教大體健) 090-3817-3402